

オリジナル医療機器で 海外市場にチャレンジ!

安井 株式会社

昭和5年に印刷の分野で創業した安井株式会社。門川町加草にある本社工場の7万㎡におよぶ広大な敷地の一面に、現在、新しくメディカル工場を建設中です。同社はこれまで印刷事業をはじめ、発泡スチロール事業、プラスチック射出成形事業など、80年以上の歴史の中でさまざまな事業を展開し、ものづくりのパイオニア企業として進化し続けてきました。

今年、これまで培った製造業のノウハウを活かして医療機器産業へ参入し、宮崎から国内そして世界市場へチャレンジします。オリジナル医療機器第一号「コウプライト」は、外科手術の際に術野を明るく照らすLED照明付き透明プラスチック鉤です。構想から市場調査・開発・製品化に至るまで実に5年の歳月を要しました。



オリジナル医療機器第一号・コウプライト

これからも担当として松田社長のチャレンジを応援していきます。門川から世界で活躍している企業の存在は地元の活性化にもつながっています。



延岡営業部営業課
法人営業グループ課長代理
河埜 健一郎

宮崎銀行とはメインバンクとして長年のお付き合いです。平野頭取は同じ歳で東北の北川出身ということもあり大変親近感がありますね。また、貿易取引においては国際部をはじめ担当の方々にサポートいただいています。これからもよろしくお願ひします。



熱い想いを語る松田哲社長

た、昨年、ドイツで開催された医療機器の展示会では世界の医療関係者からも高い評価をいただきました。しかし勝負はこれからです。オリジナル製品を作っても売れなければビジネスにはなりません。市場は全世界ですからチャレンジはまだ続きます。

医療分野への参入はとても勇気の要る決断でしたが、宮崎県と大分県で推進する「東九州メディカルバレー（医療産業拠点）構想」の総合特区指定や延岡市の「メディカルタウン構想」など産学官の取り組みが後押しになりました。

また、弊社のプラスチック射出部門では、ISO9001に対応した品質管理を行っているほか、クリーンルーム（ISOクラス8）を完備しており、既に医療機器部品の製造実績がありましたので、厳しい品質管理が求められる新商品開発においても問題ありませんでした。今後、付加価値の

高い医療機器の製造を目指していきます。

